

アンケート結果 回答者属性

▶講習会参加者 DAY1:33名、DAY2 : 31名、 Total : 64名

▶回答数 DAY1 : 15件、 DAY2 : 10件、 Total : 25件 Totalでは全体の**39.1%**がアンケートに回答した

▶所属/学年・職位

医学系・加齢研の参加者が3割を占めたが、7割が他分野からの参加者だった。修士学生と教員の参加者が多かった。

所属	Total	%
医学系・加齢研	8	32%
経済	3	12%
教育	3	12%
文学	3	12%
国際文化	3	12%
工学	2	8%
不明・その他	3	12%

学年/職位	Total	%
学部	4	16%
修士	9	36%
博士	3	12%
教員	7	28%
不明・その他	2	8%

▶解析経験

事前のアンケート同様、解析の**未経験者・初学者が中心**となった。

解析経験	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
解析をやったことがない	76.0%	73.3%	80.0%
教えてもらいながら解析を行ったことがあるが、まだ主体的に解析を進める自信がない	16.0%	13.3%	20.0%
教えてもらいながら解析を行ったことがあり、数回助言をもらえば解析を進められる	4.0%	6.7%	0.0%
一通りのデータ解析を行ったことがあり、ひとりでも解析を進められる	4.0%	6.7%	0.0%
最近の解析の進歩についていけない	0.0%	0.0%	0.0%

* 0%は白文字

回答率向上

- 母数が小さい（参加者数に限界がある）ため、回答率は100%に近くなる工夫をすると、全体の傾向分析や各日の比較がしやすかった。
- 今年は複数回協力依頼（リマインド）を送ったが、来年度は事前にアンケート協力を依頼しておく、特典を付けるなど。
- TAに参加者の理解度についてや、困っていたことなどを聞き取りすることも有用かも。

所属と会場

- 7割が医学系・加齢研以外とすると、より参加しやすい場所は川内か？（参加者募集を強めるなら検討の余地あり）
- 逆に医学以外の参加者が多く加齢研でやるなら、解析講習会の前後にMRI見学ツアーを抱き合わせてもよかったか。
- 参加者が今年以上に増えたら、参加者全員が座れるような工夫必要（会場の変更、荷物テーブルの設置、グループ形式に変更、ハイブリッド開催）

初学者中心

- 事前アンケートに基づき初学者向けのプログラムを作成したため、狙い通りの参加者層が集まった。
- 一部経験者もいるので、その人の参加動機が追えたらよかった。（未経験者友人のサポート？ コネクション構築？）

アンケート結果 感想 1

▶理解度

DAY2はやや理解度が下がった

理解できたか	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
そう思う	36.0%	33.3%	40.0%
ややそう思う	60.0%	66.7%	50.0%
どちらともいえない	4.0%	0.0%	10.0%
あまりそう思わない	0.0%	0.0%	0.0%
全くそう思わない	0.0%	0.0%	0.0%

▶実践への見通し

理解度の質問より回答者の自信がない傾向。

実践できるか	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
そう思う	28.0%	33.3%	20.0%
ややそう思う	56.0%	60.0%	50.0%
どちらともいえない	12.0%	6.7%	20.0%
あまりそう思わない	4.0%	0.0%	10.0%
全くそう思わない	0.0%	0.0%	0.0%

▶進捗

「ちょうどよい」「やや速い」で二分した。

進捗	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
非常に速かった	0.0%	0.0%	0.0%
やや速かった	44.0%	53.3%	30.0%
ちょうどよかった	56.0%	46.7%	70.0%
やや遅かった	0.0%	0.0%	0.0%
非常に遅かった	0.0%	0.0%	0.0%

▶時間

「ちょうどよい」が半数以上だが、「やや長い」が「やや短い」をわずかに上回った

時間	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
非常に長かった	0.0%	0.0%	0.0%
やや長かった	28.0%	26.7%	30.0%
ちょうどよかった	60.0%	66.7%	50.0%
やや短かった	12.0%	6.7%	20.0%
非常に短かった	0.0%	0.0%	0.0%

実践への不安解消

- 理解度を比較して実践の自信がない原因として、直前に解析する予定がないため時間が空いてしまう、自分の実験データで応用できるか不安、サンプルデータの実験条件を理解できなかった、など考えられる
- 不安解消案として、簡単な応用問題を演習として組み込む、参加者の手持ちのデータで演習してもらう時間を設ける、経験談；「誰も試行錯誤するものである、簡単にできなくて当たり前なので失敗して見てほしい、実際に手を動かすことが重要、不安があって自然」といった旨のエピソードトークを組み込む

▶TAの数

適切だった。

TA	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
多かった	0.0%	0.0%	0.0%
適切だった	100.0%	100.0%	100.0%
少なかった	0.0%	0.0%	0.0%

* 0%は白文字

進捗の改善

- スクール形式の座り方は、講師からは参加者の作業状況（もう完了しているのか、エラーが起きているのか）がわかりにくかった。改善案として次年度はグループ形式にしてTAを各グループに配置。
- 時間がやや長いと感じている人もいたため、今年よりプログラムを絞る、より初学者向けの内容とする、2画面（講習資料と、解析の実践画面）を確認できる環境（紙資料配布？）を整えるなど検討必要。

アンケート結果 感想2

▶講習会の形式 対面形式は支持を得ている

講習会の形式	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
対面でよかった	92.0%	93.3%	90.0%
ハイブリッドのほうがよかった	8.0%	6.7%	10.0%
オンラインのほうがよかった	0.0%	0.0%	0.0%

▶事前案内 事前準備はほぼ戸惑っていない

事前案内	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
非常に満足 (準備に戸惑わなかった)	56.0%	53.3%	60.0%
やや満足	40.0%	40.0%	40.0%
どちらともいえない	0.0%	0.0%	0.0%
やや不満	4.0%	6.7%	0.0%
非常に不満 (準備できなかった)	0.0%	0.0%	0.0%

▶総合評価 おおむね高評価である

総合評価	%(Total)	%(DAY1)	%(DAY2)
非常に満足 (丁寧だった・ちょうどよかった)	56.0%	53.3%	60.0%
やや満足	44.0%	46.7%	40.0%
どちらともいえない	0.0%	0.0%	0.0%
やや不満	0.0%	0.0%	0.0%
非常に不満 (わかりにくかった・不親切だった)	0.0%	0.0%	0.0%

対面が好評

- わからない点をすぐ講師・TAに聞けるという点が対面でやる最大利点として参加者に実感していた。
- ハイブリッドであれば（自席であれば）、自分のデータを使える（持込PCに大容量データが入らない）、デュアル画面で受講できる、といった声もあったので、検討の余地あり

早期準備の呼びかけ必要

- お盆（事務室の対応が遅れる）時期ということもあり、ライセンス申請に時間がかかったり、ひとつひとつのソフトやデータ、資料のダウンロードに時間がかかったという声もあった。メールやイベント案内に、「時間がかかる」旨を強調するなど工夫必要
- 声としては上がらなかったが、講習会中に事前準備の作業をしている参加者も点在した。

満足度向上

- 非常に満足と答えたのは6割以下にとどまった。何かしらの改善ポイントを感じた参加者が4割と捉え、改善に努める必要あり。

アンケート結果 自由記述 1

▶よかった点

DAY1

- ・ 大満足です。たった4時間ほどで前処理とFirst level分析を体験できるシステムティックで丁寧な講義でした。また、アシスタントの皆様の働きも素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ・ どういうシステムを使って具体的にどういう操作があるのか、インストールから一通りの流れをさらえたことそのものが非常に有用でした。
- ・ 事前の準備や説明、そしてダウンロードが必要なものについても非常に分かりやすくご説明いただき、先生方はとてもプロフェッショナルでした。また、AAのサポートも的確で大変助かりました。
- ・ 質問点をその場で解決していただいたのが非常にありがたかったです。
- ・ 講師・AAの方が分からないところを直接教えてくれた
- ・ TAと講師の方は、とても親切に疑問を解消してくれました。スライドも細かく作られており、授業の進度に合わせて見ることができました。
- ・ TAのサポート、PCとサンプルデータを貸してもらえたこと。ありがとうございました。
- ・ 事前案内とTAの手伝い
- ・ ティーチングアシスタントの方がかなり頻繁に見まわりに来てくれて、進行度について確認してくださったのでありがたかった。
- ・ スライドと講義の両方が共有されていたので、一度聞き逃したり、やってみて上手くいかなくても再度資料を確認することができ、作業がやりやすかった。
- ・ わからない時、ティーチングアシスタントが丁寧に細かく教えてくださり、理解し、自分の知見を深めることができた。
- ・ TAによる指導
- ・ 講義内容、スライドの配布
- ・ パワーポイントのファイルがとても分かりやすく、後から自分で解析を試みる時にとても役に立つと思いました。
- ・ 時間
- ・ 会場では、コンセンートを設置していることがとても良かったと思います！

DAY2

- ・ 先生方のご説明はとても丁寧で、会場も十分に広く、常に迅速なサポートを受けることができました。
- ・ TAによる指導
- ・ 困っているときにすぐにサポートしてくれた点。
- ・ ティーチングアシスタントがいたことでわからなくなっても、講義を理解することができた。
- ・ 疑問点をすぐに解決していただき非常に助かりました。TAの方も迅速に対応していただき本当にありがとうございました。
- ・ 実際に手を動かしてやると記憶に残るのでよかったです。
- ・ みなさまお忙しいところこのような機会を頂きありがとうございました。システムでの作業は思わぬところで引っ掛かったりするので、オンラインやオンデマンドではなくオフライン開催頂けて非常に良かったです。
- ・ "入り口を開けっ放しにしてくれたため、前日と異なり、入場に戸惑わなかった。実際作業している画面を映してくれたため、進捗状況を確認しやすかった。"
- ・ 時間
- ・ コンセンートが用意されたのは本当に良かったです

* 内容ごとに列挙

TAと、講習資料の配布が好評

- ・ 特に、「TAにすぐ聞いた、すぐに疑問が解消できた」という点が評価された。
- ・ 講習資料を配布したことで、参加者は手元で自分の進捗に合わせて資料を確認しているようだった。
- ・ 講習会の内容、丁寧さ、資料の充実を評価する声もあった。
- ・ 1階入口の開錠や延長コードの設置など、会場環境に言及もあったので、次回以降も継続する必要あり。

アンケート結果 自由記述2

▶改善点やご意見

DAY1

- 重箱の隅をつつくようで恐れ入りますが、First-level解析のスライド（p4,p5）で一般線形モデル（General LM）と一般化線形モデル（Generalized LM）を混同しているように見えます。名前が紛らわしいですが、この2つは別物です。恐らく今回使用したのは一般化線形モデルではなく"一般"線形モデルと思います。また、その場合、残差は任意の分布ではなく多変量正規分布の仮定に限定されるはずです。
- 一般線形モデル（GLM）についての説明が薄かったので、もう少し詳しく教えてほしいです。
- 今回はGUIを用いた操作でしたが、今後機会がありましたらMatalabコードを用いた解析方法についてもご教授いただきたいです。
- 今回の講習を受講して、notebookLMというAIにPDFファイルを渡せば、以後は一人でAIと対話しつつ進められるのではないかと思います。例として、First Level解析のPDFを読ませたものを作ってみましたので、参考のため、共有します。googleアカウントがあれば閲覧可能です：<https://notebooklm.google.com/notebook/1f08f64c-8761-4663-b26a-2d97db65b002>
- もしバグ修正に関する講座を追加していただければ、さらに良くなるかと思います。
- SPMの使い方が教えてくれたけど、operationのポイントをもっと説明してくれば良いと思います。
- 少人数のグループワークのような形式にすると良いと感じました。TAの方にすぐ質問できるような環境が好ましいと思います。
- 操作デモンストレーションを行う際、少し速すぎます。講師の操作に集中しなければならないため、自分の操作を同時に行うことはできません。
- 事前準備に意外と時間がかかったので（インストールやファイルの格納など）案内時に時間がかかる旨を教えてもらっていたら、もっと余裕をもって準備ができたかな、と思います。
- MシリーズMacでの設定の困難さの事前情報か、推奨環境の情報があるとよかったです。
- 事前に資料を配布して欲しかった
- 会場に入るのに警備員に連絡を入れる必要があり、少し戸惑ったので、事前にどこに連絡を入れるべきか・「〇〇の参加者です」など案内があるとよかったです。

DAY2

- PPTの中に間違えやすいポイントについて注意書きを入れていただけると、さらに良いと思います。
- スライドの内容をもう少し細かく書いて欲しかった
- SPMからメニューを選ぶとき、すこし強調するとか、ゆっくりするとか、してもらえるとよりわかりやすくなると思いました。
- Day1についても同じなのですが、作業途中で別途保存用のディレクトリなどを作成するときは手順スライド内にそのスクリーンショットもあると非常にありがたいなと思いました。任意の場所で大丈夫なのか、特定の階層に作らないとうまくSPM側から参照できないのかなどの背景知識がないので、実演を見逃してしまったときにどうしようか迷って進捗が滞ることがありました。（&最初たまたま日本語の名称が含まれるディレクトリ配下に保存用フォルダを作っていたために実行時に参照passに対するエラーが出たりしました）
- 時間の関係もあると思いますが、後半部分を実際にやってみることができたらさらに良かったと感じました。
- 機能的ネットワークの解析についてもハンズオンでできたら嬉しく存じます。
- 13時から17時の講義予定だったが、約1時間ほど早く終わったので、DPABIの実践の方もやりたかった。

*「特になし」は削除、内容ごとに列挙

エラーしやすい点をわかりやすく、他

- 「TAのサポート」がよかった点として評価が高かったことは、つまり参加者の多くが小さなエラーを多く経験したということでもあるので、エラーが起きやすいポイント、躓きやすいポイントをあらかじめ資料や口頭説明に組み込んでおく。それを求める声も多かった。
- 内容の正確性に関しての指摘もあったため真摯に内容確認に努める。資料を講師同士で事前に確認しあう時間もあればなおよい。
- 参加者によって、より深い内容や発展的な内容を求める声もあれば、より基礎的で丁寧な内容を求める声もあるため、どこにターゲットを合わせるか、どうアナウンスするかは検討が必要
- Resting stateの演習もやりたいという声が多いので、来年に向けてサンプルデータ作成を検討する